

# English Medical Terminology <Revised Edition>

最新医学用語演習 〈改訂新版〉

岡田 聚  
名木田 恵理子  
田中 伸代



NAN'UN-DO

English Medical Terminology  
<Revised Edition>

Copyright© 2018

by  
Atsumu Okada  
Eriko Nagita  
Nobuyo Tanaka

All Rights Reserved

No part of this book may be reproduced in any form without written permission  
from the authors and Nan'un-do Co., Ltd.

## はしがき

本書は、医療系の大学や専門学校で学ぶ学生のための「英語の医学専門用語」の知識獲得を目的としたテキストです。英語の医学事典では10万語を優に超える用語が検索できますが、そのほとんどは、ギリシャ語またはラテン語を起源とする語要素によって組み立てられています。

本書では、ギリシャ語・ラテン語を起源とする語要素を学習することによって、医療系専門分野の従事者が共通して知っておくべき基礎的な知識を習得する方法を採用しています。本書の全16のユニットは、それぞれ、医学用語の語要素の学習と練習問題によって構成されています。ギリシャ語・ラテン語を起源とする語要素のスペルや発音は、これまで親しんできた一般英語のそれらとは大きく異なっています。発音については付属のCDによって確認してください。正しい発音は正しいスペルの獲得に役立ちます。

また本書では、専門用語だけでなく、それに対応する一般英語も提示しています。医師など専門職の人々は、カルテやその他の記録文書にむずかしい専門用語だけを記入しているわけではありません。ごく普通の用語や表現もたくさん使われています。さらに、各ユニットの扉ページに「カルテの英語」、合間にはクロスワードパズルやカルテの見本等を載せていますので、学習の成果を知り、応用力を高めるために活用してください。

本書は1回の授業で1ユニットを学習することを考えて構成していますが、授業は概ね1セメスター、15回で組まれているので、学習者の専門領域に応じて、ユニットを柔軟に取捨選択するのもよいでしょう。なお、初学者の便宜を考慮して、語要素については単純化・簡略化して提示してあることから、より厳密に定義し応用範囲を広げるためには、さらに深い学習が必要となることを申し添えておきます。

本書は1993年の初版以来、長い年月を重ねて、医療分野の職種を目指す人の医学用語の学習に利用されてきました。この間いくつかの貴重なご意見、ご指摘をいただき、このほど南雲堂の加藤敦編集長のご尽力によって大幅な改定作業に至りました。この場を借りて感謝申し上げます。本書が今後とも、医療分野を専門に学ぶ学生のみなさんの医学用語修得の一助となることを願っています。

編著者

# CONTENTS

Unit 1	医学用語の基本構造 The Structure of Medical Terms	07	Unit 9	循環器系・リンパ系の用語 The Cardiovascular System / The Lymphatic System	59
Unit 2	接尾辞 (1) Suffix (1)	13	Unit 10	呼吸器系の用語 The Respiratory System	65
Unit 3	接頭辞 Prefix	19	Unit 11	大小・形状・色・数の用語 Size, Shape, Color, and Number	71
Unit 4	消化器系の用語 The Digestive System	25	Unit 12	脳神経系の用語 The Nervous System	79
Unit 5	接尾辞 (2) Suffix (2)	31	Unit 13	筋肉系・骨格系の用語 The Muscular System / The Skeletal System	87
Unit 6	泌尿器系・男性生殖器系の用語 The Urinary System / The Male Reproductive System	37	Unit 14	撮影・検査・測定・治療の用語 Imaging, Tests, Measurement, and Treatment	95
Unit 7	女性生殖器系の用語 The Female Reproductive System	45	Unit 15	感覚器官の用語 The Sensory Organs	103
Unit 8	体内物質等の用語 Biochemical Substances in the Body	51	Unit 16	人体の部分と位置・方向の用語 The Body Regions and Directional Terms	109

## Unit 1

### 医学用語の基本構造

### The Structure of Medical Terms



世界保健機関 (World Health Organization) のシンボルマーク。世界地図を背景に、ギリシャ神話の医神アスクレピオスが持つ杖が図案化されている。

医学用語の多くは、ギリシャ語またはラテン語を起源とする語要素によって組み立てられている。そして、その大部分はギリシャ語を起源とするものである。ただしその場合、ギリシャ語そのものが全く同じ形で使われているのではない。英語圏では、英語になじみやすいように形を変え、英語として理解され使用されている。ここで取り上げる医学用語は英語である。

## Step 1 医学用語の構成

### ●用語の成り立ち

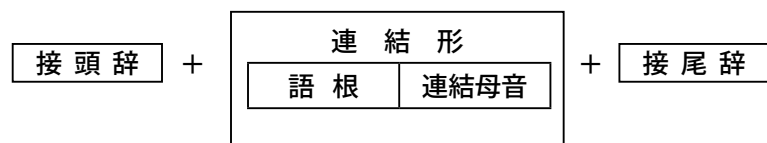
英語の単語をみると基本形からさまざまな派生語が生まれていることに気づくであろう。例えば, eating, eater, overeat は, eat (食べる) という動詞に -ing (～こと), -er (～人), over- (過剰) がついてそれぞれ「食べること」, 「食べる人」, 「食べすぎる」という意味を表している。これから学習していく医学用語では, このように語を「いくつかの要素によって構成されているもの」としてとらえることが基本になる。

### ●医学用語の構成要素

医学用語は, ギリシャ語, ラテン語に由来する複数の語要素で構成されている。用語の最小単位は1つの語根と1つの接尾辞であるが, 複数の語根が連なる語や, 接頭辞がつく語もある。学習の始めに医学用語の構成要素について知っておこう。

- |                                  |   |
|----------------------------------|---|
| 1. <b>語根</b> (word root)         | 語の基礎部分  |
| 2. <b>連結母音</b> (combining vowel) | 語根と語根, あるいは語根と接尾辞を結合させるとき, 子音同士の結合では発音しにくいので, 2つの語要素をつなぐ接着剤として母音をはさむ。この母音を連結母音とよぶ。<br>a, e, i, u, yなどが使われることもあるが, 通常はoが用いられる。 |
| 3. <b>連結形</b> (combining form)   | 語根に連結母音をつけたもの。<br>医学用語の学習においては連結形を単位とする。  |
| 4. <b>接尾辞</b> (suffix)           | 語根, または接頭辞の後につけて新しい意味を付け加える。  |
| 5. <b>接頭辞</b> (prefix)           | 語根, または語の前につけて新しい意味を付け加える。  |

医学用語の基本的な構成は, 次の図式のようなになる。



### ●造語の基本的ルール



語根と語根, 語根と接尾辞のつながりにおいて, 子音結合では発音しにくいので, 連結母音として多くの場合oが挿入される。ここでの学習では, 語根にoをつけた形の「連結形」として学習していく。

gastr/o (胃) + -logy (学問, 研究) → gastrology (胃病学)

hepat/o (肝臓) + -logy (学問, 研究) → hepatology (肝臓病学)

母音で始まる接尾辞が後続する場合は, 連結母音は不要である。連結母音がなくとも, 発音上の支障がないからである。

gastr/o (胃) + -itis (炎症) → gastritis (胃炎)

hepat/o (肝臓) + -osis (病的状態) → hepatosis (肝症)

連結形同士の結合の場合には, 母音で始まっている場合も, 通常, 連結母音を省略しない。

gastr/o (胃) + enter/o (小腸) + -logy (学問, 研究) → gastroenterology (胃腸学)

医学用語は複数の要素がつながっているが, 並べてある語要素の順番に意味をとっていけばよい。

gastr/o (胃) + hepat/o (肝臓) + -logy (学問, 研究) → gastrohepatology (胃肝臓病学)

gastr/o (胃) + enter/o (小腸) + -itis (炎症) → gastroenteritis (胃腸炎)

ただし, 順番どおりに意味が繋がらない場合もある。

electr/o (電気) + cardi/o (心臓) + -gram (図) → electrocardiogram (心電図)

場所や位置関係を表す接頭辞がついている場合, 語要素の順序が日本語の順と一致しないことが多い。

para- (周囲) + hepat/o (肝臓) + -itis (炎症) → parahepatitis (肝周囲炎)

各々の語要素の意味が分かっている場合も, そのまま日本語に変換できないものもある。

micr/o (微小) + -scope (検査鏡) → microscope (顕微鏡)

\* 連結形は「語根/o」, 接頭辞と接尾辞は連結部に「ハイフン」をつけた形で示す。

## Step 2 主要な臓器器官を表す連結形

- 実際に連結形と接尾辞をつないで語をつくってみよう。次の連結形はいずれも体の重要な臓器を表している。( )の中はその英語名である。



gastr/o	(stomach)	胃
hepat/o	(liver)	肝臓
nephro/o	(kidney)	腎臓
cardi/o	(heart)	心臓
encephal/o	(brain)	脳

- 次の接尾辞は、医療分野では「専門科」、「専門医」を表す。子音で始まる接尾辞が続く場合は連結母音 o があることによって発音が可能になる。



-logy	(study, specialty)	学問, 専門分野 (~学)
-logist	(one who studies, specialist)	研究者, 専門医

- <演習 1-1> 上記の連結形と接尾辞から次の用語をつくりなさい。

- 胃病学 \_\_\_\_\_
- 肝臓病学 \_\_\_\_\_
- 腎臓病学 \_\_\_\_\_
- 心臓病専門医 \_\_\_\_\_
- 脳病専門医 \_\_\_\_\_

- 次の接尾辞は母音で始まっている。この接尾辞が後続する場合は、連結母音の o は不要である。



-itis	[-aitis]	(inflammation)	炎症 (~炎)
-osis	[-ousis]	(abnormal condition)	病的状態 (~症)
-oma	[-oumә]	(tumor)	腫瘍 (~腫)

- <演習 1-2> gastr/o (胃) とつないで次の用語をつくりなさい。

- 胃炎 \_\_\_\_\_
- 胃症 \_\_\_\_\_
- 胃腫瘍 \_\_\_\_\_

- <演習 1-3> hepat/o (肝臓) とつないで次の用語をつくりなさい。

- 肝炎 \_\_\_\_\_
- 肝症 \_\_\_\_\_
- 肝腫瘍 \_\_\_\_\_

- <演習 1-4> nephro/o (腎臓) とつないで次の用語をつくりなさい。

- 腎炎 \_\_\_\_\_
- 腎症 \_\_\_\_\_
- 腎腫瘍 \_\_\_\_\_

- <演習 1-5> cardi/o (心臓) とつないで次の用語をつくりなさい。

- 心臓炎\* \_\_\_\_\_
- 心臓症 \_\_\_\_\_
- 心腫瘍 \_\_\_\_\_

\* 「心臓炎」の場合 cardiitis とはならない。語要素の連結部に同じ母音を重ねる場合は、1つが脱落する。

- <演習 1-6> encephal/o (脳) とつないで次の用語をつくりなさい。

- 脳炎 \_\_\_\_\_
- 脳症 \_\_\_\_\_
- 脳腫瘍 \_\_\_\_\_

### Step 3 一般英語での表記

● 医学用語と一般英語表記とをくらべてみよう。

医学用語は一般的な英語で表すこともできる。ただし、1語ではなく説明的表現となる。そういうことからギリシャ語・ラテン語源の医学用語は便利である。



	医学用語	一般英語
腎臓科	nephrology	a specialty <sup>1)</sup> of kidney disease
心臓病学者	cardiologist	a specialist of heart disease
胃炎	gastritis	inflammation of the stomach
肝症	hepatosis	abnormal condition of the liver
脳腫瘍	encephaloma	brain tumor

<sup>1)</sup> いわゆる「診療科」は department

<演習 1-7 > ( ) 内に1語を入れて次の医学用語の英語表記を完成しなさい。

1. cardiologist: a specialist of ( ) disease
2. encephalitis: inflammation of the ( )
3. gastrology: a specialty of ( ) disease
4. hepatoma: ( ) tumor
5. nephrosis: abnormal condition of the ( )

医学用語の場合、複数の語要素を連ねることが可能であるため、1語が長くなる傾向がある。世界で一番長い英単語 pneumonoultramicroscopicsilicovolcanoconiosis (塵肺症) も医学用語である。この語は, pneumon/o (肺), ultra- (超), microscopic (顕微鏡視的), silic/o (珪素), volcan/o (激しい), conoi/o (塵), -osis (症) という語要素で構成されており、「肺の中に超微視的珪質の火山灰のような細かい粉塵がある病的状態」を表している。

現在「塵肺症」は, pneumoconiosis, さらには coniosis と、短縮されて使われている。

## Unit 2 接尾辞 (1) Suffix (1)



聴診器 (stethoscope) は、医師や看護師の必須アイテムとして知られている。臨床医療現場で心臓・肺・血管等が発生する音を聴くのに用いる。

前課で学習した接尾辞 -logy と -itis, -oma, -osis には、子音で始まるものと母音で始まるものという違い以外にも、異なる点がある。すなわち、-itis, -oma, -osis がそれ以上分割できない基本的な接尾辞であるのに対して、-logy はもともと log- という「言葉, 知」を表す語根に「状態, 方法」を表す接尾辞 -y がついてできた接尾辞であるという点である。こういった接尾辞はその成立から「複合接尾辞」とか「語尾形」と呼ぶこともできるが、ここではこれも「接尾辞」として学習していく。